

# 決算について

## 日刊木材新聞に掲載されました

株式会社ハウスフリーダム（本社：大阪府松原市、代表取締役社長：小島 賢二）は2025年2月10日(月)に大阪証券取引所にて会見を実施した2024年12月期決算発表の内容について2025年2月14日(金)に日刊木材新聞社様に掲載されたことをご知らせいたします。

当社では、今後も決算発表の会見を積極的に行っていく予定です。

【日刊木材新聞 2月14日付 2ページ】

**決算**  
24年12月期

**売上げ22.9%増  
過去最高を更新**  
ハウスフリーダム  
ハウスフリーダム  
（大阪府松原市、小島賢二社長）は増収増益。売上高は前期比22.9%増の過去最高を更新し、営業利益・経常利益・当期純利益とも前期比2桁増になった。

**ハウスフリーダム(連結)**  
単位：100万円、( )は前期比%

	24年12月期	25年12月期予想
売上高	14,488(122.9)	15,000(103.5)
経常利益	768(131.7)	800(104.1)
当期純利益	484(141.1)	500(103.2)

100万円（前期比6.3%増）、利益2億9300万円（同2.6%増）になった。新築戸建て分譲事業はコロナ禍で盛り上がったが、その後は土地価格や資材の高騰によって在庫調整に苦戦した。しかし、2023年前半には在庫が落ち着き後半から販売が伸び、24年12月期には大阪や中部エリアで22年同期の水準に復調した。顧客ニーズに合った分譲住宅の供給を目標に事業を推進し、特に23年9月に営業所を開設した沖繩エリアは、営業社員を増員するなど営業体制を強化して来た。販売戸数は少ないものの、23年同期は9棟だったが24年同期は27棟の3倍増になった。鉄筋住宅のコスト上昇の影響もあって木造住宅が伸びている。そのほかのエリアでは価格調整を伴う販促活動などで利益率の低下が見られたが、販売件数は23年同期（233棟）から大幅に増加し279棟になった。売上高80億4100万円（同25.9%増）、利益2億3000万円（同155.4%増）になった。

不動産賃貸事業は主力商品の木造アパート12棟に加えてRC造賃貸マンション1棟を販売した。同社グループが開発する用地特性を生かした高利回りの収益物件は、相対策向の販売を中心に不動産投資家から好評を得ており、順調に事業拡大を継続している。売上高29億8400万円（同34.8%増）、利益7億2700万円（同11.3%増）になった。

建設請負事業は注文住宅やリフォームの請負を展開し、中古住宅のリフォームが伸びた。売上高12億7800万円（同13.8%増）、利益は1億1000万円（同10.2%増）になった。

< 報道関係者からのお問い合わせ先 >

株式会社ハウスフリーダム 広報担当 福西 TEL：072-343-5255

Mail：fukunishi@housefreedom.co.jp